

「我クラブの現状について思う」

会員の増強をしなかったら、我クラブの運営は必ず行き詰まる

森本 時夫

今年度、会員増強委員長、並びに岐阜北クラブ見直しワーキングの代表を担当し見直しテーマの緊急対応の必要性を、ヒシヒシと感じております。

私が日頃から思っている事を率直に述べさせていただき、現執行部、並びに次期執行部には緊急に対応に乗り出し、全ての会員に認識を頂き、一丸となって取り組んで頂きたい。

今年度に入って、若山・苅谷・早川・前田会員のご尽力により、2名の方に入会を頂きました。現在、加入促進には、波多野・岡田・永瀬・安藤・原田・谷田・片桐会員にご尽力頂いておりますが、現時点の加入見込みは立っておりません。

下期も残り4ヶ月です。3月までに決まらなければ、今年度の新規会員は望めません。皆さんのご理解と努力に期待いたします。

加入を推進するには

1. 入会を望まない人が入会してくれるはずがない

入会すると、こんな良いことがある。

- 1) 異業種の多くの友達が、貴方の入会を待っているよ！
- 2) 貴方の仕事上の参考に成る情報を沢山提供してくれる良い友達が得られるよ！
- 3) 一人では出来ない事も仲間たちと一緒にすれば大きな力と成って活動が出来るよ！
- 4) 昼食の時間を有意義な憩いのひと時として過ごせるよ！

こんな点を伝えると良いと思う。

2. 入会して貰うには若干の暇とお金が必要に成る

- 1) クラブ活動も出来る限り例会変更で行い、暇財を少なくする。
- 2) 入会金は今年度の暫定金額5万円を通常化する。
- 3) 会費は、半期10万円まで下げる。
- 4) ロータリー財団及び米山寄付金は強制化しない。

3. クラブ運営費を見直す

- 1) 事務局費を半減する。――事務局の人件費を削減する。
- 2) 会議費（例会費）を半減する。――例会場を変更する。

以上の様に改善する事は、加入促進に大きな力と成るのみならず、会員が退会を考えない事に繋がる事と確信します。

4. 各委員会活動について

委員会の役割と、活動方法について学習し直す事が必要だ。

11月2日の見直しワーキングからの提言を、早く実践し改善に向けて取り組んで欲しい。

以上